

選者：さいたま市立上小小学校 教諭 新井 千恵子

作：古田 足日

「月の上につよがりロボット」

月のうさぎ村は、みつかるのか？

たすけた子ねこがおしえてくれた月のひみつ道(みち)をさがしに行(い)く強(つよ)がりロボット。すてられた人形(にんぎょう)とたぬきがぐわり、ひみつ道をさがします。不思議(ふしぎ)なことに、ロボットの体(からだ)にくつつくと、見える見える。地球(ちきゅう)の光(ひかり)にてらされた月のひみつ道が…。未来(みらい)の未来の話です。

作：古田 足日

「大きい1年生と小さな2年生」

大きい1年生のまさやは、ホタルブクロをプレゼントできるのか！

2年生になる前(まえ)、前から3番(ばん)目ぐらいになりたいとつぶやいたあきよが大きいけど1年生のこわりまさやと出会(であ)います。ある日、小さくても、大きいものに気づきます。「子どもには、たいていのみちが、はじめてのみちなんだ」とまさや。まさやは、あきよにホタルブクロをプレゼントできるのでしょうか。

作：川崎 洋

「ぼうしをかぶったオニの子」

こころやさしいオニの子に、なかよしさんはできるかな。

ひとりぼっちのオニの子は、とっても心(こころ)のやさしい子でした。だから、たくさんのきれいなものに出会(であ)います。ワニのおじいさんのせなかのしわの中から地図(ちず)を手(て)に入れ、「たからものって、どういうものか」自分(じぶん)の目でたしかめに出かけます。世界中(せかいじゅう)でいちばん美(うつく)しいものとは、なんでしょう。

作：市川 宣子

「ケイゾウさんは四月がきらいです。」

ニワトリのケイゾウさんの大好(だいす)きなものは、なんでしょう。

ぶっといミミズをつかまえ、おなかいっぱいになったケイゾウさん。満足(まんぞく)のためいき。そんなケイゾウさんは、うさぎのみみこといっしょによち園(えん)の庭(にわ)に住(す)んでいます。大好(だいす)きなもこ先生(せんせい)や園児(えんじ)と、たくさんのできごとがくり広(ひろ)げられます。しかも、ケイゾウさんのきらいなことが次々(つぎつぎ)と起(お)こるのです。